

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

おん ね ない

月刊 **温根内** 通信

2024年4月号 No.331

4月15日(月)発行



熱で誘うスプリング・エフェメラル

早春の花が可憐に咲き始めました。
温根内では限られたところにキタミフクジュソウが見られます。鮮やかな黄色の花は蜜を出さず、太陽の光を効率よく集めて熱を発生させます。この暖かさで虫をおびき寄せ、花粉を持って行ってもらうのです。さらに花は日光の傾きに合わせて動くので、その様はまさにパラボラアンテナそのもの。植物の知恵にはいつも驚かされます。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた自然 (3/15 ~ 4/14) ☆☆☆



【ドクゼリの根茎】
セリ科 毒芹
新芽を出し始めた根茎が湿原の水
面にプカプカと浮いています。花
は夏に咲きます。



【ハンノキ】
カバノキ科 榛の木
枝先の雄花から花粉を出していま
す。ハンノキ林を見上げると、たく
さんついているのがわかります



【キヌヤナギ】
ヤナギ科 絹柳
温根内周辺のヤナギ類で最も早く
開花する本種。雄株と雌株があり、
写真は花粉を出す雄株の花です。



【エゾリス】 リス科 蝦夷栗鼠
地面に落ちた何かの実を食べていま
した。温根内では会うのは非常に稀
です。餌を探しているうち、湿原ま
で下りてきたのでしょうか。



【エゾアカガエル】
アカガエル科 蝦夷赤蛙
今が繁殖期で、オスの鳴き声が湿原
のいたるところから聞こえます。体
の模様には個体差があります。



【エルタテハ】 タテハチョウ科
成虫で越冬するタテハチョウ科の
仲間。タヌキの糞に寄ってきてい
ました。クジャクチョウ、コヒオ
ドシなども確認しています。

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた野鳥 (3/15～4/14) ☆☆☆

日に日に暖かくなり、鳥たちも賑やかになってきた釧路湿原。今はカラ類などの留鳥の囀りがメインです。これから続々と夏鳥たちがやってきて、賑やかさはさらに増すでしょう。まだ数は少ないですが、オオジュリンやノビタキといった代表的な夏鳥も既に確認されています。観察には双眼鏡がおすすめです。無料でレンタルできますので気軽にお声がけください。



【ベニマシコ】 夏鳥
アトリ科 紅猿子
オスは鮮やかな紅色をしています。警戒心が強いので双眼鏡でそっと観察しましょう。



【ハクセキレイ】 夏鳥
セキレイ科 白鶺鴒
ビジターセンター周辺のアスファルトをちょこちょこ歩いています。毎年のおなじみの光景です。



【ヤマゲラ】 留鳥
キツツキ科 山啄木鳥
何とも言えない哀愁漂う声で鳴きます。ここでは春と秋に見かける機会が多いキツツキの仲間。

○温根内木道周辺で観察された花と鳥 (3/15～4/14)

花 (和名は五十音順)	2	マガモ	16	ヤマゲラ	30	ノビタキ (4/7 初認)	
1	アオイスミレ	3	ミコアイサ	17	カケス	31	ハクセキレイ (3/28 初認)
2	アキタブキ	4	カワアイサ	18	ハシボソガラス	32	タヒバリ
3	ウラボイチゲ	5	アオサギ	19	ハシフトガラス	33	カワラヒワ (4/11 初認)
4	エゾエンゴサク	6	タンチョウ	20	ハシフトガラ	34	マヒワ
5	エゾネコノメソウ	7	トビ	21	ヒガラ	35	ベニヒワ
6	キタミフクジュソウ	8	オジロワシ	22	シジュウカラ	36	ベニマシコ (4/6 初認)
7	キヌヤナギ	9	ハイロチュウヒ	23	ヒバリ (3/28 初認)	37	シメ
8	ケヤマハンノキ	10	ノスリ	24	ヒヨドリ	38	カシラダカ
9	ハンノキ	11	ケアシノスリ	25	エナガ	39	アオジ (4/13 初認)
10	フクジュソウ	12	コゲラ	26	ゴジュウカラ	40	オオジュリン (4/3 初認)
11	ミズバショウ	13	オオアカゲラ	27	キバシリ		
鳥 (和名は日本鳥類目録第7版の順)	14	アカゲラ	28	ミソサザイ			
1	オオハクチョウ	15	クマガラ	29	トラツグミ		

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

☆☆☆☆ 自然ふれあい行事が開催されました ☆☆☆☆

○「ラムサール条約釧路会議 30周年記念 温根内の歴史を探訪しよう」

3月17日 参加者：17名 講師：佐藤光則 (元塘路湖エコミュージアムセンター指導員)

かつて温根内ビジターセンターの指導員も務めていた佐藤氏を講師に招き、佐藤氏自身が撮りためていた30年前の



写真と現在の風景を見比べながら散策し、温根内の現在までの歩みを探訪する会を行いました。木道の入り口では、30年前と現在の木道を写真で見比べつつ、当時はまだ湿原に木道を架ける技術が確立されておらず、手探りだったことを語っていただきました。また、鶴居軌道跡の水路には当時、今では考えられない数のニホンザリガニが生息



していたことに一同驚愕していました。温根内に形跡が残っている鶴居軌道のお話もしてもらい、講師自身も幼少期に一度だけ乗車したことがあるとのこと。

昔と今を比べることで今後私たちがこの湿原とどう向き合っていくべきかを考えさせられる散策会となりました。

○「春の足音を聴きに行こう」4月7日 参加者：17名 講師：藤原伸也（温根内VC指導員）

雪解けが進んだ早春の湿原を楽しむ散策会を行いました。木道を歩き始めるとさっそく、水面に何か浮いており、そっと拾い上げてみるとワサビのようにも見える緑色の物体。これはドクゼリの根茎で、誤食した例もある猛毒の植物。

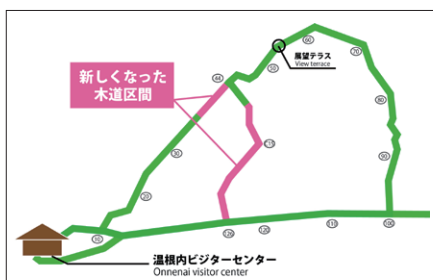


根茎の中は中空になっており、水面に浮かびながら冬を越し、芽吹きを待っていました。中には個性的な形の根茎も。ハンノキの枝先にはいくつも垂れ下がった雄花が裂開し、花粉を散らしていました。最後に、鶴居軌道跡では春の芽吹きの代名詞ともいえる、フキノトウを徹底的に観察して散策を終えました。この日は曇りがちで、いつもならエゾアカガエルの合唱が響きわたるところ、わずかに遠くで聞こえただけに終わりましたが、参加者らは十分に春を感じてもらえた様子でした。



☆☆☆☆ 木道が全面開通しました♪ ☆☆☆☆

3月末に木道の改修工事が終了し、現在はすべてのコースが通れるようになっています。新しくなった木道での散策をお楽しみください。なお、古い木道の箇所もまだ残っており、傷んでいる場合がありますので、足元には注意して歩いてください。今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



☆☆☆☆ イベントのご案内（5月）事前の申し込みが必要です☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪早朝バードウォッチング

〔日時〕5月19日（日）8:00～10:00

〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター駐車場

釧路湿原は繁殖期を迎えた野鳥のさえずりで大賑わい。野鳥の活動が活発な早朝の時間帯に観察会を行います。バードウォッチング初心者さんも歓迎！双眼鏡も無料でお貸しします。



○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪新緑の森林ウォーク

〔日時〕5月25日（土）10:00～12:00

〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔集合場所〕二本松駐車場

～タンチョウ再発見 100周年～

今年2024年は、絶滅したとされていたタンチョウが釧路湿原で再発見されてちょうど100年。もし運よくタンチョウに出会う機会があれば、この100年に思いを少し、馳せてみてください。



月刊 温根内通信 No.331

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel：0154-65-2323 Fax：0154-65-2185

E-mail：ovc@kushiro-shitsugen-np.jp

ホームページ：http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/

Facebook：温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間：9:00～17:00（11月～3月は16:00まで）

休館日：毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料